

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP)

for Promoting International Education

「つよく やさしく かしこく 未来にはばたく吉田方」

～豊川とともに生きる～

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校は、昭和22年に豊橋市立西部第三中学校として開校し、翌年、吉田方中学校となり、67年目を迎えた。本校の教育活動のなかで、ESD（「持続可能な開発のための教育」）との関連があるのは、以下の3点である。

1. 豊川クリーン活動・カヌー体験活動

本校では、近くを流れる「豊川」と関わる活動を20年以上にわたり、実施している。昭和59年度に始まったクリーン活動は、現在も「豊川クリーン活動」として、PTA、校区健全育成会の協力を得て、吉田方小学校と合同で実施している。また、平成2年度から実施している「カヌー体験活動」も、毎年実施し、本校の伝統行事のひとつとなっている。

2. キャリア教育

本校は、平成19年度～21年度にかけて豊橋市教育委員会の委嘱を受けて、「キャリア教育」の研究を行い、22年度文部科学大臣表彰を受け、「キャリア優良校」となった。22年度以降も、キャリア教育の視点で、教育課程を見直し、人格の発達（キャリア発達）を図っている。

3. 防災・減災

本校は、海拔1m地帯にあり、大規模な地震が起こった時、液状化や津波が心配される。東日本大震災を期に、学校危機管理マニュアル、学校安全マニュアル等を見直すとともに、より現実を想定した避難訓練や防災に関連した講話を実施している。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESDへの取り組みについて、上記3点（自然との関わり・環境保全、キャリア教育、防災・減災）の立場から継続していきたい。具体的には、「豊川クリーン活動」・「カヌー体験活動」、「キャリアアンケート」、「避難訓練」・「防災講演」を中心として活動していく。特に、「豊川クリーン活動」・「カヌー体験活動」の2つの活動は、長期にわたり継続活動しており、本校の伝統となっている。「カヌー体験活動」は、わが地域の風物詩とでもいうほど、地域に浸透している。また、「豊川クリーン活動」は、小学校、地域との合同行事であり、地域に根づいた活動となっている。今後も、地域を巻き込んだ形で継続発展させていきたい。昨年度より、生徒会主催のボランティア活動として、「吉田方校区クリーン大作戦」と称する530運動を開始した。本校生徒から地域へ環境保全を発信し、地域への関わりをより強固で深いものにすると同時に、生徒の自主性・責任感を育むことにもつながると考える。

Execution (プロジェクトの実施)

(1) 活動計画 (平成25年度1年生の例)

教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合		パドル講習会 水難事故防止講習会	プール練習会 豊川清掃 豊川練習会				豊川について	将来について		進路について		
			キャリアアンケート					キャリアアンケート				
行事	避難訓練	防災講演	防災講演			避難訓練				避難訓練		
		カヌー体験										
		豊川クリーン活動										
		校区クリーン大作戦									校区クリーン大作戦	

(2) 自然との関わり・環境保全に関する活動

「カヌー体験活動」は、毎年、1年生が実施し、6月を予定している。当日までの、準備・活動は以下の通りである。

- パドル講習会・・・ライフジャケットの着用・パドリングの方法
- 水難事故防止講習会・・・水難事故の実態とその回避方法
- プール練習会・・・プールで実際にカヌーに乗船
- 豊川清掃・・・乗降場所・トイレ等の清掃
- 豊川練習会・・・豊川で実際にカヌーに乗船

「豊川クリーン活動」は、年に1回、吉田方小学校6年生と合同で、PTA・校区健全育成会の協力を得て、1時間程度の清掃活動を実施している。開会式では、国土交通省職員を招いて、豊川についてのお話をいただいている。昨年度から、実施している「吉田方校区クリーン大作戦」は、生徒会主催で希望者を募り、校区のゴミ拾いを実施している。方法・形態・回数は、今後、よりよいものをめざして変更する可能性がある。



平成25年度「カヌー体験」
(2人1組で協力して漕ぐ。)



平成25年度「豊川クリーン活動」
(小学校6年生と力を合わせて…。)

(3) キャリア教育に関する活動

「キャリア教育」は、全教育活動をキャリア教育の視点をもって、捉え直し、生徒一人一人のキャリア発達の育成を図るものである。日々の授業の中も、「関連するキャリア発達にかかわる諸能力」を位置づけ、キャリア発達にかかわる諸能力向上に力を注いでいる。その成果を、年2回生徒全員を対象としたキャリア教育アンケートを実施し、各学年男女別の特性・成長を検証している。



理科3年「化学電池のしくみを考えよう」
(グループ学習 自主的に…)



2年「職業人の話を聴く会」
(14人の講師を招いてお話を聞きました。)

(4) 防災・減災に関する活動

「避難訓練」は、毎年、年度当初と9月初めに実施している。東日本大震災後は、津波対策の訓練を重点的に実施した。9月初めの避難訓練は、東海地震注意情報等の引取訓練を兼ねている。また、本年度は、不審者対策の避難訓練も実施する。「防災講演」は、専門家を講師として、全校生徒・職員を対象として開催している。

本校は、海拔1Mで、大地震の際には、液状化現象が必ず起きるとされている危険地帯である。今後も、幼保小や地域と連携して、講演会や防災訓練等を継続的に実施していきたい。



平成25年度 避難訓練
(津波想定 プールへ…)



平成25年度 防災講話
(南海トラフ巨大地震に備えて…)

Type of materials to be used (使用する教材)

「中学校キャリア教育の手引き」 文部科学省 平成23年3月

「キャリア教育ノート」夢を見つけ夢をかなえる航海ノート 愛知県教育委員会 (WEB版)

「環境教育指導資料」国立教育政策研究所 平成19年3月

「愛知県環境学習基本方針ー720万県民のエコ協働プログラム2010」

「あいち学習ハンドブック」

「あいちグリーンウェイブ運動」啓発DVD「どんぐりセミナー 身近な自然を知って、守ろう」

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

指導教師は、日々、生徒の活動の様子・態度等を観察している。また、毎日の生活日記から、生徒の気持ち・意欲等を把握することができている。

各プロジェクトの後には、ワークシートへの記述によって評価する。

また、以下の方法で、本校生徒の実態をとらえ、次年度へつなげている。

- ・年に二度、生徒のキャリア発達をとらえる調査を「キャリアアンケート」として実施し、学校全体、学年ごとの実態や教育活動の成果を把握する。
- ・年度後半、来年度に向けて、職員一人一人が本校生徒の成長した点、改善点等をあげる。それをもとに、職員全体で話し合いをし、「めざす吉中生」として明確にしている。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

1 / 4 / 2014

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職) Principal

Institution's name (学校名)

Yoshidagata Junior High School